

525i 535i



次世紀の英知と躍動。
精緻さとダイナミズムを極めた
理想のセダン。



常に時代のスピリットを 反映してきた車の歴史

自動車はその発明以来、常に各時代が生み出した最高のテクノロジーを反映してきました。しかし、その後まもなく、自動車は単なるテクノロジーのシンボルを越えた存在として真価を発揮し始めました。つまり、単に技術だけを追求した創世期が幕を閉じるとともに、自動車は時代精神までも反映するようになったのです。

時代の精神、それは当時の人々の心が生み出した夢の集合体だと言えるでしょう。人々の憧れを具現化するために、極めて個人的になっていった自動車の歴史。その傾向は、車にエレガンスが求められ始めた1930年代から、大衆モータリゼーションを迎えた60年代を経て、かつてないほど個性的な車作りが可能になった現代まで続いています。



ラジエーターグリル：丸型4灯のヘッドライト。BMWならではの風貌。キドニーグリル、ユニークなラインが与える傑出した個性。
美しく、そしてスピード感あふれるスマートさ。

ニューBMW5シリーズ： 常に未来を生きながら 現在を楽しむことを知る方に。

現代の世界が求めるものは、ダイナミックかつ柔軟な思考力と行動力です。それは、企業家スピリットと、呼びかえることができます。生活と仕事のいずれにも第一級のセンスと能力で創造的に向かうこと。これが、このような方々にとっての信条であり、喜びです。そして今、すべてに行動的である方の理想を満たす、例外といっても過言ではない車が姿を現わしました。それが、ニューBMW5シリーズです。

BMWは、自動車のデザインと機能を基本的な観点から徹底して再考しました。そしていま、真の意味での独創的で、すべての点を満足させてくれる車を創り出すことができたことを確信して、ニューBMW5シリーズを世に送り

出しました。

ニューBMW5シリーズが、様々な車の中できわめて例外ともいえる存在であることは、そのトータルな性格から知ることができます。スポーツカーの性能と高級ラグジュアリー・サルーンの品質と快適な乗り心地、そして、洗練されたヨーロッパの格調高いデザイン。特に、スポーツカーと高級サルーンの理想的な統合は、言葉上でイメージを与えることはできても、実際には実現することが不可能であると思われてきたものです。

一目見た瞬間から感じられる、 車とドライバーのダイナミズム。

ニューBMW5シリーズとの初めての出会いは、いままで誰も体験することのなかった感覚と価値観を強く印象づけます。BMWのアイデンティティを確かに継承しながら、独創的



でエレガントなスタイリング。横風に対する安定性をも考慮した、トータルな空力フォルムの美しさとともに、ヨーロッパの深い美的伝統を感じさせてくれます。

BMWのデザイナーたちは、データを綿密に検討する数学者であるとともに、それを個人的に表現する芸術家でもあります。1980年、BMWの風洞実験室に流線型をした実験モデルが置いてありました。このモデルのCd値は実質0.2以下でした。そして4年後、ドイツBMW本社のすぐ側にある著名なBMW博物館に陳列され、次のように記されたのです。「我々は、このようなものも作ることができる」と。BMWは、うわべだけ未来志向の車を作るつもりは全くありません。ニューBMW5シリーズは、総合的な空気力学効率を徹底的に追求しながら、単なる風洞実験室の申し子ではなく、明確なアイデンティティを持った

車として生み出されたのです。モータリングの世界で様々な車と出会い経験を深めてきた、目の肥えたモータリストの方々に魅了する精緻なイメージ。ニューBMW5シリーズの優美でありながら明快で力強いラインを見るだけで、車とそのドライバーの躍動的な個性を感じるができます。

モータリングを文化にまで高める 洗練されたパフォーマンスと品質。

類を見ないハンドリング性能と、卓越したパフォーマンスは、ニューBMW5シリーズの、もうひとつの明快な特長です。ステアリング操作に、スムーズに、そして確実に反応し、ドライバーはどのような状況でも車を意のままに操ることができます。また、素晴らしい精度をもったBMW直列6気筒エンジンがもたらすダ

イナミックなパワーは、喜びと自信に満ちたドライビング体験を与えてくれます。さらに、サスペンションは、比べるものを持たないほどの、確かな走り、確かな安全性を発揮します。BMWの先進技術と熟成技術がおりなす路上でのパフォーマンスは、まさに未知の運動性の発見です。

ニューBMW5シリーズのすべての特質と、それを支えるテクノロジーの相互作用は、人間とマシンのきわめて稀な素晴らしいハーモニーをもたらします。様々な車の中で、BMW車がきわめて稀なドライビングの喜びと価値をもっていることと同じように。

(カタログ中の記載及び写真には、日本仕様と異なるものもあります。また、一部オプション、特別注文も含まれます。)

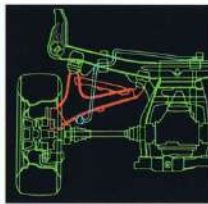


インストルメントパネル: 必要とする重要な情報を的確に伝達。BMW哲学によるマン・マシン・インターフェイスの極致。

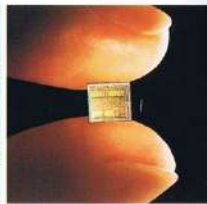




エンジン:
すべてのパワーの源泉。ダイナミックで絹のように滑らかなBMW直列6気筒エンジン。あらゆる面で高い完成度。



リアサスペンション:
すべてのパワーを制御。精密に仕上げられたアライメントによるサスペンションコントロールによって、理想的なハンドリングと路上における最高レベルの安全性を実現。



DME:
高精度な機能と安全性。精密かつ知的なエレクトロニクスシステム。あらゆる機能を完璧に制御し、監視し、調整し、最良の燃料消費効率を実現。

先進テクノロジーがもたらす、 卓抜したトータルバランス。

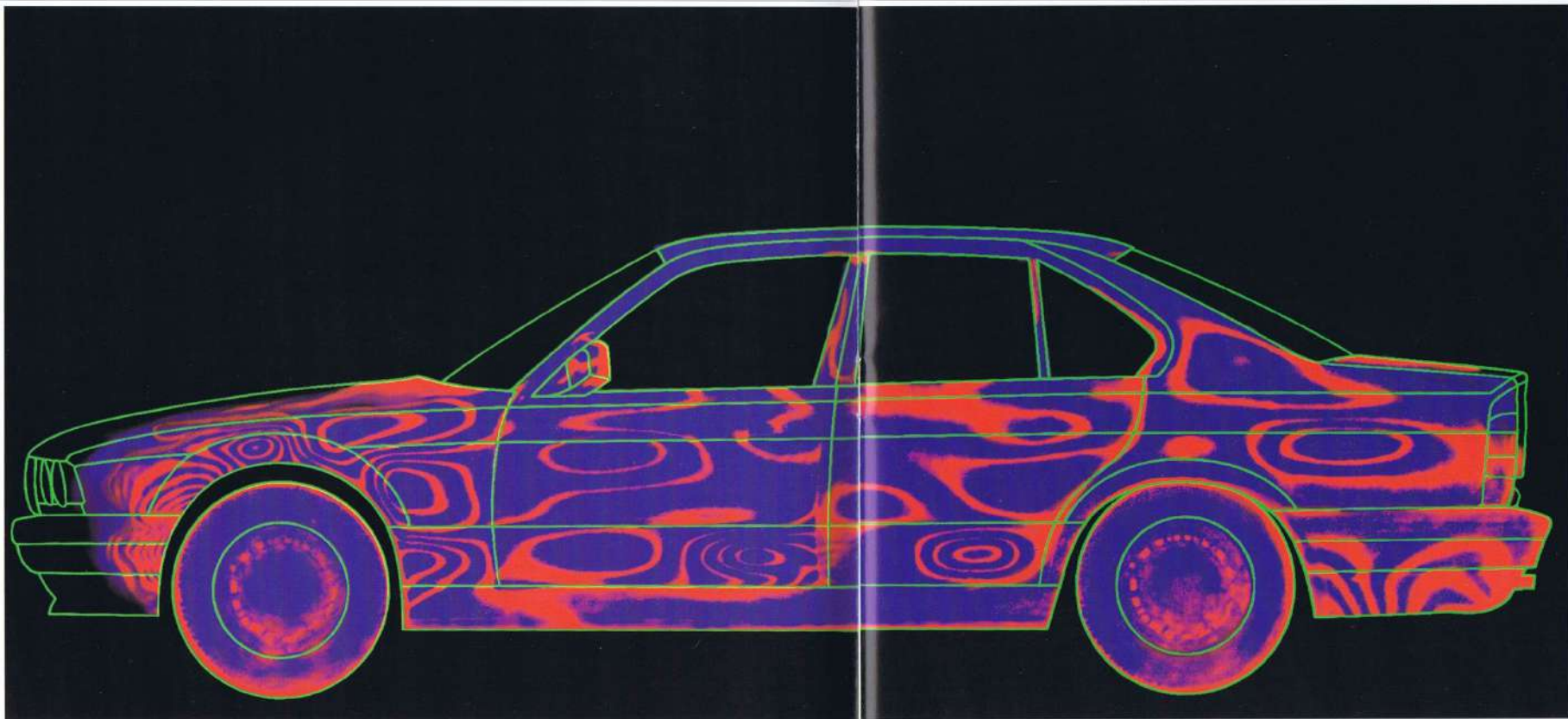
バイエルン地方特有の情熱的な気質とドイツの厳格なクラフトマンシップが、第一級のテクノロジーと結びついて生まれるBMWのパワーユニット。ニューBMW5シリーズに搭載された直列6気筒エンジンは、その先進的な伝統を継承し、さらに洗練を極めて生み出されました。たとえば、コンピューターによってエンジンはもちろん車全体の状態を把握して、エンジンを制御する第3世代DME/デジタル・モーター・エレクトロニクスは、BMWならではのユニークかつ高精度なシステムです。この高性能エンジンは、「エンジンよりも速い（さらに素晴らしい）」と評されるシャーシ、磨き抜き熟成されたサスペンションと組み合わせられ、ダイナミックな走りを発揮します。また、ニューBMW5シリーズは、開発初期の段階

から騒音を低減するためにレーザースキャナーを使用するなど、その品質はまさに精密さの集合体であるといえます。

驚くほど高品質の車に仕上げた、 地球140周分のテスト走行。

ニューBMW5シリーズの素晴らしいクオリティを実現するために、走っては自問を繰り返し、妥協のない議論と再検討が行なわれました。様々な路面状態を再現したBMW自らのテスト・コースはもちろん、ニューBMW5シリーズの走行実験は、地球全体をテスト・コースとして1986年の初頭から徹底的に遂行されたのです。その総走破距離は約560万kmにも及びます。内訳は、オーナーと同じ条件での走行が330万km。北部スカンジナビア・ドライバー基地やアラスカなどの寒冷地を含む特殊地域が150万km。交通渋滞・

ハイウェイ・買物など、アメリカの典型的な交通状況のもとでの日常運転テストが21万km。酷暑の南アフリカでのエアコンと燃料供給システムのテストが14万km。イタリア南部のナルドでの高速テストが45万km。その他、フランスのミラマ・ベース、BMWのテスト・コースでの走行が含まれます。



レーザースキャナー:
最高の材質と精密な仕上げ。高い品質こそニューBMW5シリーズの最も本質的な要素。例えばBMW音響テストセンターでは、最新テクノロジーによる騒音低減のため開発初期段階からレーザースキャナーを使用。妥協を許さないトータルなテストを実施。

最新テクノロジーが創造した、 機能美の結晶。



自動車のスタイリングの真価を外観だけで判断することはできません。文化的に成熟した現代では車のスタイリングが重要な意味を持っているのは確かです。しかし今、ほとんどの新車は驚くほど似通ったデザインをしており、違いを見つけることすら困難であるとも言っても過言ではないでしょう。その理由までは追求しないとしても、正直な印象として今やメーカー間の違いすらも明確ではありません。しかし、モータリングの世界には、時としてこのような傾向に対する例外が存在するのです。

すべてに調和のとれた デザイン・コンセプト。

そこに秘められた本質的な要素を別として、ニューBMW5シリーズは第一印象からして驚くほど他車とは違った外観を持っています。あらゆる角度から見ても、それは紛れもなくBMWであり、極めて洗練されています。BMWの特徴である丸型4灯ヘッドライトのロービームには革新的な楕円反射鏡テクノロジーを備えており、一新されたしなやかで優美なスタイリングの中に、伝統のキドニークリ

ルが整然と調和しています。また大きく視認性にすぐれたリヤ・コンビネーション・ランプは路上での安全性を確保します。すべてのパーツは最適な位置に配置されるとともに、そのすべてが統合され、調和した完成度をもっています。美しいスタイリングとクーペにも似たルーフラインはドライバーがコックピットに座って、ダイナミックなドライビングを楽しんでいる姿を想起させます。スタイリングは、路上での卓越したパフォーマンスを明快にあらわしているのです。

徹底的な風洞実験により、 横風に対する安定性を向上。

このようなデザインの素晴らしさをも上回る特長が、最高水準の機能的効率です。その事実を具体的に示すのが、Cd値=0.30という数字で証明される空力的にきわめて洗練された流線形スタイリングです。しかしCd値だけではニューBMW5シリーズのすぐれた空力性能を表現するのに充分ではありません。BMWが考える空力性能とは、Cd値で示される数値が、路上におけるエンジン・パワーを最大限に引き出すための方法だけ

ではないからです。それはBMWにとっての空気力学効率が、高速走行中に遭遇する横風に対する完璧な安定性をも意味しているからです。ですから私たちは、このようなトータルな空力的な安定性をなによりも重視したのです。

また機能的な効率を達成するためのBMWの原則は、それらがすべて開発実験と実際の走行テストを経た成果でなければいけないということです。たとえば風洞実験だけで完成した車と異なり、ニューBMW5シリーズには伝統的なレインシールが装備されており、ドアを開閉するたびに雨や雪の滴がシートを濡らすことがないように工夫されています。また、ウインドーには必要なだけの傾斜角がつけられ、極めてスタイリッシュでありながらも、真夏に車内の温度が上がりすぎることはありません。このような知的なアプローチが随所に見られます。





フロントおよびリアウインドーはボディと完全な同一面として接合されているために空気の流れは極めてスムーズで、全体的な安定性の向上にも寄与しています。ドアシーリングはすべて三重構造であり、騒音対策は完璧です。

トータルな空力設計は通常は目に触れないボディ下部にも及んでいます。すべての部品は空気の流れを妨げないようにフラットにレイアウトされており、排出ガスですらもボディ下部の空気流とスムーズに整合するように設計されています。

自動車が高速で走行する際の車のまわりの空気の流れをスムーズにするだけでは安定性は保証されません。ニューBMW5シリーズは走行を不安定にする揚力の発生を押しさえ、最高のロードホールディングが発揮できるように注意深くボディ各部をデザインしています。リヤスポイラーはボディと調和しながら一体となり、スタイリング全体としてはダイナミックでありながら大袈裟でないウエッジ形状をもっています。さらにスムーズな床面とともに、高速走行時に必要な最適なダウンフォースを発揮できるように入念な設計開発

が行われています。これらの結果、抜群の直進安定性と、どんな速度域においても確実なハンドリングが安全で快適なドライビングを実現しています。先進的な自動車の設計開発において、安全に寄与する強靱なボディ構造も重要な課題のひとつです。ニューBMW5シリーズのボ

リヤコンビネーションランプ。大型で、遠くからでも明確に識別可能なリヤコンビネーションランプ。安全性へのきめ細かな配慮。



ディのすべての部分は、抜群のねじり剛性を備えています。この構造を達成した秘密のひとつは、多数の小型部分を組み合わせるのではなく、ほんの少数の合理的な大型ボディパネルを採用して溶接箇所を大幅に減らしたことにあります。さらに最先端のコンピューター・シミュレ

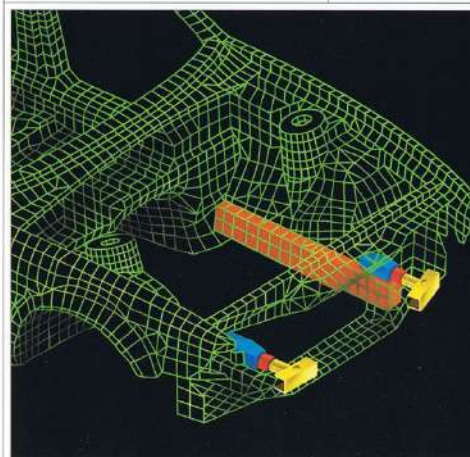


ション・モデルを開発初期から用いることによって、最高のボディ強度を達成しながら、余分な重量の増加という問題を避けることができました。その結果、すぐれた燃料消費効率と結びついたので。

衝撃吸収ボックスが最高の安全性と最小の修理費用を実現。

安全性に対するもうひとつの解答として、フロントエンドにビルトインされた精巧な衝撃吸収システムがあります。内蔵された衝撃吸収ボックスと呼ばれる構造体は、例えば駐車時におきやすい時速4キロまでの衝突を完全

に吸収して、バンパーにわずかの凹みすら残しません。さらに時速15キロまでの正面衝突に対しては、そっくりそのまま交換が可能な衝撃吸収ボックスだけが変形するようになっており、ボディフレームや各部材は全くダメージを受けず、しかも乗員に対する衝撃も安全なレベルまで軽減されています。



フロントボディ入窓に設計されたトータルな安全システムの一部を構成する衝撃吸収システムが、時速15キロまでの衝撃を効果的に吸収。また、ボディ主要部分に最適な防錆処理を施して長期にわたる耐久性を向上。

徹底的な防錆処理により、際立つ耐久性を実現。

ニューBMW5シリーズのボディ構造は、開発の当初から総合的に完璧な防錆対策処理を実現できるように設計されており、長期にわたる耐用年数にわたって初期性能が保たれます。ボディパネルの必要箇所は亜鉛メッキされているために、従来の基準より一段とすぐれた耐蝕性をもっています。亜鉛メッキの後は、防錆用の特別な液材に浸されます。ボディ・シエルのすべての部分はこの車の長い使用期間に考えられるあらゆる悪条件を乗り越えるだけの耐久性をもたせるため、実に20工程の防錆処理を施されます。

実用性に優れた装備の数々。

以上のような合理的な特長のほかにも、ニューBMW5シリーズはこれまでにない種類の実用的な装備の数々を備えています。例えばドライバー側のワイパーは、スイッチを入れると自動的に走行速度と比例してワイパーブレードの接触圧を変化させ、広い拭き取り面積を通して、絶えず完璧な視界をもたらします。

また、セーフティロック付きの集中ロック機構も標準装備されています。集中ロック機構には、燃料タンクリッドと、トランクリッドも含まれています。トランクリッドは2本のガス封入式ショックアブソーバーで支えられているので、それを開けるのに無用な力はいりません。4枚のドアはシートへの着座を快適かつ容易にするために非常に広い角度まで開きます。ドアの開度は3つのポジションで設定されており、各々の位置で保持できるため、狭い場所に駐車した時の乗降に便利です。しかし、ニューBMW5シリーズの実用的な装備の良さを本当に理解する方法は、ただひとつしかありません。それは実際にドライビングをご自分で体験されることです。

それと言うのも、ニューBMW5シリーズは実際に運転をすればするほどに、その真価を知ることができる車だからです。運転して初めてわかる「何か」を感じた時、あなたはきっと、永遠に失われたと思っていた、ドライビングの真の喜びを再発見できることでしょう。



リヤスタイリング: 機能的デザインが調和のとれた美しさをもつことを証明。Cd値=0.30という空力性能と、他車と見紛うことのないBMWの個性をユニークな形で統合。しかも流線型スタイルは、全方位の充分な視界、快適な室内空調、そして横風にも強い優れた走行安定性をすべてクリア。また、開発および製造における最高の精密さによって、すべての面で抜群の高品質を確保。初めて見た瞬間から、完成されたダイナミズムという際立った印象。



**絹のように滑らかでダイナミック、
洗練された知性を持つエンジン。**



ニューBMW5シリーズの魅力的なスタイリングは、内に秘められた高度なテクノロジーによって高められています。外観も内側のテクノロジーも、ともに個性的であると同時に、きわめて洗練されています。ニューBMW525iと535iに搭載されたエンジンを取り出してみても、その外観と高度なテクノロジーは完璧な調和を見せています。ニューBMW5シリーズに搭載されたエンジンは、すべて定評あるBMW直列6気筒です。完璧なバランスを持ちシルクの滑らかさをもつ洗練を極めたこれらのエンジンは、ニューBMW5シリーズが備えるべきパフォーマンスを実現するための、テクノロジーの選択であると言えます。クランクシャフトは7つのメイン

ベアリングで支持されています。また全部で12個のカウンターウエイトが取り付けられているために、クランクシャフトはねじり振動から解放され、この結果、BMWの直列6気筒はまさにタービンエンジンのように滑らかな挙動を示します。ニューBMW5シリーズは、このように美しいスタイリングにふさわしい高度に洗練された、精緻なテクノロジーと一体化しているのです。

パワーと滑らかさの最良のブレンド。

エンジン・コントロールも同様にきわめて先進的であり、世界で最も進化したエンジン制御システムである、第3世代DME/デジタル・モーター・エレクトロニクスを特長としていま

す。第3世代DMEは20個以上のセンサーとインフォメーション・インターフェイスを使用し、車の周辺環境条件と、現在のエンジンの運転状況を判断します。外気圧と外気温度をエンジンの回転数およびエンジン温度と比較し、どのような場合であっても理想的な運転条件になるようにコントロールします。このコンピューター・システムは、さらに、エアコンを動作させた場合や、冷却ファンが動作した場合などでも、エンジンのアイドル回転状況を自動的に調整して、作動前と同じように滑らかなエンジンの挙動を維持するのです。第3世代DMEは1秒間に1,000回以上という

速さで点火時期と燃料噴射条件をチェックします。したがってインテークマニフォールドに噴射される燃料供給量は、あらかじめ設定された理想的な値に対して完璧な正確さを保ち、たとえ1m%の数字の1でも過不足が生じるようなことはありません。このように厳密な制御こそ、BMWが「包括的で完璧なエンジン・コントロール」と呼んでいるものです。

第3世代DMEはもうひとつの画期的な特長として学習機能を持っています。第3世代DMEは、あらかじめ設定されたプログラムを実行するだけでなく、その時々の時に最良の結果をもたらす「知的に考えられた」正しい解答を、実際の状況の学習結果と目標値を比較することによって導き出すことができます。

エンジンの回転状態を学習し、摩擦状態が

どのように変化するかを判断したうえで、第3世代DMEは、例えばアイドル回転数を車の長期にわたる使用期間の全期間にわたって一定に保つことができます。第3世代DMEは、その「頭脳」に蓄積されている目標数値とエンジンの摩擦状態のほんのわずかな変化すらも比較検討し、その結果エンジン制御をどのように変更すれば良いかを判断します。以上のすべての手順を実行したあとで、はじめて正しい噴射量と正確な噴射タイミングを決定し、同時に点火プロセスを準備します。しかも大事なことは、これらの一連の工程がすべて1秒の数千分の1の時間に行われるということです。

しかし正確な燃料供給とそれがもたらす最良の燃料経済性は、言わばコインの片面に過ぎません。もうひとつの大事なポイントは、

エンジンにストレスを与えることを回避できるということです。第3世代DMEはエンジンが最高回転数に達したことを感知するやいなや直ちに燃料供給をカットします。その結果エンジンをオーバーランさせることは決してありません。

**エンジンだけでなく
自らのシステム全体もコントロール。**

第3世代DMEはまた、エンジンの健康状態も監視します。必要とあれば、点火時期を最適制御して、エンジンにほんのわずかも被害が及ぶことを回避します。そしてさらに自分自身をチェックします。万一故障が起きた場合には、それが故障であることを自ら判断したうえで、その故障状況を記憶し、次回の整備にその情報を提供することができます。この

ようなオンボード診断システムはメンテナンスコストを大幅に軽減します。日々の運転において第3世代DMEは静かに完璧に働き続けています。ニューBMW5シリーズのエンジンは、キーを回した瞬間からパーフェクトなコンディションに起ります。アイドル回転は最高度の精密さでコントロールされていますから、厳寒時でも酷暑の時でも高速走行後に再始動する際でも、その性能は全く変わらず安定しています。

個性的なふたつのエンジンの選択。

ニューBMW5シリーズのエンジンは、このユニークな第3世代DMEによる高効率を特長としています。ニューBMW525iに搭載される2.5ℓライトシックスの最高出力は170ps

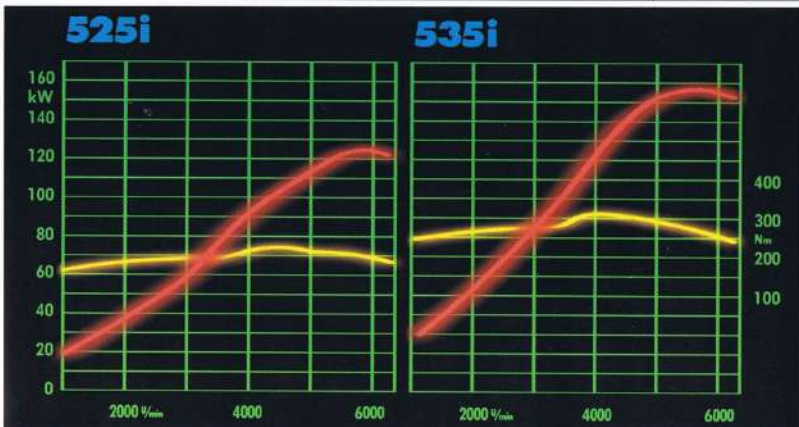
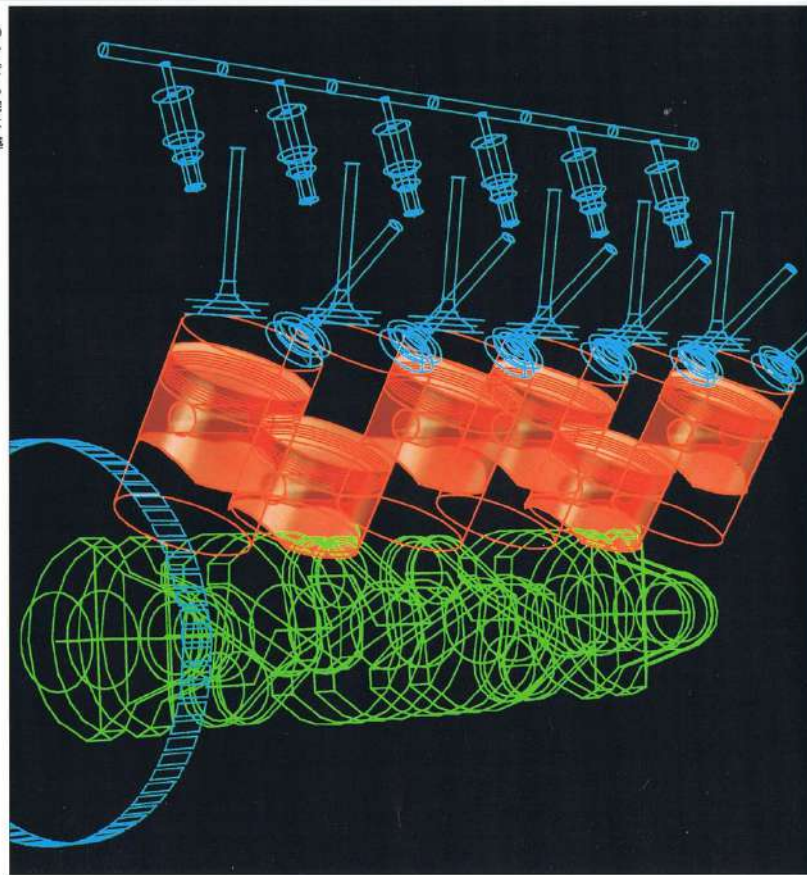
(DIN)です。このエンジンのダイナミックなパワーは非常に洗練されています。エンジン回転が低い段階では滑らかな感触を存分に味わうことができますし、最大のパワーを発揮している時でも、その静けさと優れた操作性を失うことはありません。回転を上げることによって強大なパワーが得られますが、不快な振動を感じることはいささかもありません。このように低速から高速まで一貫して洗練された挙動こそ、BMWならではのダイナミックな車としての特長です。

もうひとつの選択はニューBMW535iの、最高出力211ps (DIN)、最大トルク31.1kgm (DIN)という性能を持つエンジンです。抜群のフレキシビリティと加速性能、そしてどんな走行状況においても余裕のあるパワー。まさに最高水準のスムーズな走りによって、あ

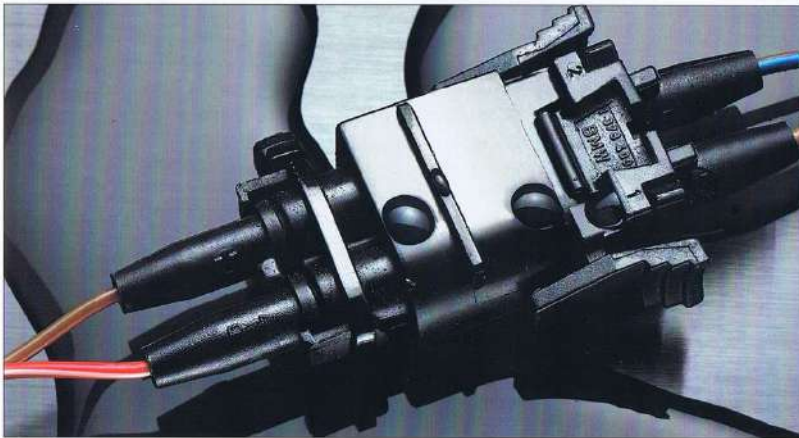
なたもパッセンジャーも躍動的な走りを満喫することができます。これこそ、まさに最高のパワーユニットと感じられるのではないのでしょうか。

しかしながら、このふたつの個性的なエンジンをこれほどまでに評価できるのは、その卓越したパフォーマンスがすべてなのではありません。それよりもむしろ、これらのエンジンがパワーと同時に洗練されたモータリング、優れた効率、そして環境保護に対する配慮、という様々な高度な要求を同時に達成しているからこそが重要なのです。だからこそ、これほど魅力的なパワーユニットを搭載した真に洗練されたニューBMW5シリーズを運転することは、まさに純粋なドライビングの喜び以外の何ものでもないのです。

直列6気筒エンジン。BMWは2.5ℓと3.5ℓのふたつの個性的エンジンに、統一したコンセプトである直列6気筒を採用。その全速度域において完璧なバランスを保ち、不快な振動を排除する卓越した性能を実現。



性能ダイアグラム：トルク曲線と出力曲線がエンジン特性を明示。トルクは全域でフラットからスムーズで、低速からも優れた加速性能を提供。同時に出力ロスに優れ、一瞬にしてピークパワーに到達。



特殊配線コネクタ：BMW伝統の高信頼性は製造工程の初期段階から明確。一例として、特別に開発した、湿気などの有害要因に強い特殊配線コネクタを採用。一貫した高品質主義がモータリングの新たな基準を設定。



**誰も味わったことのない、
新しい走行感覚の発見。**



どんな車でも、スポーツカーの敏捷なハンドリングとリムジンの乗り心地を両立させることは不可能であると言われてきました。この相反する要素を高度な次元で両立させるための解答こそBMWの卓越したテクノロジーであるということを、ニューBMW5シリーズが証明しています。ホイールベースとトレッドは車内スペースをより広くするために拡大されています。それと同時に、比較的大型のサルーンボディを持つ車であるにもかかわらず、ニューBMW5シリーズはスポーティなドライバが十分に満足するだけの抜群のハンドリング性能を持っています。挙動は敏捷で足回りはしっかりとおり、たとえ急カーブであっても遙かにコンパクトなスポーツカーと同じように楽々とコーナリングをすることができます。

不可能を可能にした、このまったく新しい次元の走りは、BMWが誇る多くの洗練されたテクノロジーと設計手法によって実現されたものです。

より長く、広く、強力に。

新しいサスペンションの基準を提示。

サスペンション設計の出発点は、特にねじり剛性を向上させた新ボディ・シェル構造です。安定したボディ構造が土台となって初めて、剛性の高いサスペンションが実現できるからです。ニューBMW5シリーズのロングホイールベースは高速での際立った直進安定性を保証し、ワイドなトレッドはコーナリング限界を高めました。つまり、優れた開発コンセプトによって、当初から高い性能が約束されているのです。

サスペンションは四輪独立懸架です。フロントはBMWダブルジョイント・スプリングストラット・アクスル、そしてリヤはユニークな高精度セミトレーリング・アーム・リヤアクスルです。しかし、ここで大事なことはフロントおよびリヤのサスペンションの方式のことではなく、前後左右のサスペンションが相互に有機的な働きをするということです。ニューBMW5シリーズがサスペンションについての、現時点における最新最良の技術レベルを示していることを確信を持って主張できる理由はそこにあります。あらゆる方向から強い力がかかっているような極限状態やハードな運転状況であっても、そしてさらに乗員や荷物を満載しているような場合であっても、しっかりと路面をとらえて離しません。四輪すべてに装着されたツインスリープ・ガ

ス封入式ショックアブソーバーは不整路面を確実に吸収し、どのように激しい凹凸であっても問題なく通過することができます。またフロントのスプリングストラットとショックアブソーバーがそれぞれ独立して取りつけられているために、細かい不整が連続するような路面でも格別に滑らかな走りを約束します。

最悪の状況でも 抜群のトラクションを発揮。

すぐれたロードホールディング性能を達成するためには欠かせない基本要件が、あとふたつ開発当初から組み込まれました。それは重心高と駆動輪への重量配分です。ニューBMW5シリーズの重心は特別に低く設計されています。前後サスペンションに装着されたアンチロールバーと共に、低い重心によるコーナリングは確実に安定しており姿勢が乱れるようなことはほとんどありません。

駆動輪に対する重量配分はまさに画期的です。車両重量の50%はリアのドライブアクスルにかかっているために、冬季でも抜群の駆動力と安定したハンドリングが保証されています。リアアクスルに十分な荷重が与えられていることのもうひとつのメリットは、ブレーキの作動効率の改善です。この結果、停止距離は確実に短縮され、安定性はさらに画期的なレベルまで到達しました。

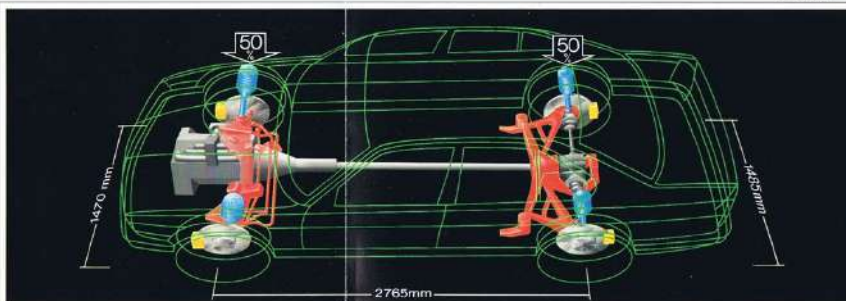
あらゆる状況下で最高の安全性を 約束する強力なブレーキングシステム。

ニューBMW5シリーズのブレーキングシステムは極めて特別なものです。高性能に見合うだけの制動力を得るために、フロントおよびリアのブレーキディスクは、直径が30cmという特別に大径のものとなりました。さらにブレーキディスクは優れた熱安定性を持つ新素材によって作られており、また当然のことながらブレーキパッドは、アスベストを含みません。このように最高の仕様を持ったブレーキングシステムは、どんな過酷な使用状況であってもフェード現象を起こしません。またドライバーがフルブレーキングをした際に確実に車のコントロールを可能とするために、4センサー方式のABS/アンチロック・ブレーキングシステムを標準装備しています。これは各ホイールに取り付けられた回転数センサーとそのデータを処理するコンピューターの2

つで構成されます。たとえばひとつのホイールがロックされそうになると、コンピューターが油圧回路を通じて制動力を弱め、ホイールの回転を復元するようなシステムになっています。このためドライバーが緊急時などの際にフル・ブレーキングを行なったとしても、車を完全にコントロールすることができ、高度な安全性が確保されます。また、ドライバーの高度な要求に確実に応えるべく開発されたパワーステアリングが標準装備されています。エンジン速度が低い場合のアシスト量は従来より20%程度増やされており、駐車時の容易性などが向上しております。

フロント/リアアクスルが生み出す、 絶妙のコンビネーション。

卓越した機動性とハンドリング、コーナリングにおける抜群の方向安定性と完璧な挙動で明らかのように、ニューBMW5シリーズのサスペンションはアクティブなモーターリングを楽しむために十分な余裕を持って設計されています。車は確実に路面を捉え、ドライバーはBMWならではの安全で確実な手応えを満喫することができます。サスペンションおよびすべてのドライブトレインは効率の良い防音・防振対策がとられているため、ユニークな「走行体験」は同時にユニークな「静粛体験」とブレンドされています。フロント及びリアアクスルは細心の注意をもってボディ・シェルとセパレートされているため、路面からの騒音は確実に遮断されています。デフ/ファイナルは二重防振マウントで保持され、プロペラシャフトは特に剛性の高いフロアマウントで支持されています。オートマチック・トランスミッションのセレクターレバーでさえも車内に振動を伝えないように設計されています。このような総合的な静粛設計により、ドライブ中にサスペンションやドライブトレインの効率の良さを感じることはできても、それを耳で聞くということはありません。



オートマチックトランスミッション:
電子式油圧制御システム・4速オートマチックトランスミッションを搭載。最高速度は4速で到達。ドライバーのあらゆる要求を満たす3種類のドライビングプログラムを選択可能。



サスペンション:
フロントエンジン/リアドライブ車にとって理想的な前後 50:50の重量配分による完璧な駆動輪荷重を達成。その結果、安全なハンドリング、あらゆる状況での最適な安定性、真冬でも良好なトラクションが実現。

完璧な トランスミッション・プログラムの選択。

ニューBMW5シリーズには、BMW独自の電子式油圧制御システム・4速オートマチック・トランスミッションが標準装備されています。このシステムは非常に精巧なコントロール・システムで、絶えず最適の変速を行うために、天候や路面状況までも考慮します。このユニークなオートマチックを使用することにより、ドライビングにおいて3種類(スポーツ/エコノミー/マニュアル)のプログラムを選択することができます。

例えば雪道の場合、マニュアルを選択して3速ギアでホイールスピンせずに発進することができます。つまり、完璧なオートマチック・トランスミッションと非常に効率の高いマニュアル・ギアボックスという、ふたつの世界の最良の部分がひとつにまとめて提供されているのです。

ブレーキングシステム:
四輪ディスクブレーキは最良の制動効率を誇り、どのような速度からでもフェード現象は皆無。15インチホイール装着によるクラス最大のブレーキディスクを装備し、さらに改良された4センサー方式のABSを標準装備。まさに最高の安全のために設計・製造された車。



**ドライビングの歡びに満ちた、
先進のコントロール・センター。**



新しい車を開発する時に重要な基準となるのは、やがてその車のハンドルを握るであろうドライバーです。当然のことながら、車はドライバーのために作られ、ドライバーの能率の良さを第一に追求すべきです。日常的なモータリングでの決まりきった動作については、できるだけ車の側で自動的に行うのが理想的な車です。

まさにこの考え方に基づいて開発されたのがBMWならではのユニークな半月形状インストゥルメントパネルです。この理念を一貫してさらに高次元まで改善し洗練させてきたBMWは、今やニューBMW5シリーズでは機能面でも美しい外観についても、まったく新しい「完全なレベル」に到達したコックピットを提供することができました。

明快でロジカルな インストゥルメントとコントロール類。

すべてのインストゥルメントとコントロール類は、ドライバーを取り巻く半月形状にレイアウトされています。個々のインストゥルメントやスイッチ、そしてノブなどは、それぞれの重要性の度合いに応じて、ハンドルポスのすぐ右側、あるいはドライバーの視線が直接向けられる方向に配置されており、あるいはコントロールの二次的な位置に取りつけられています。

インストゥルメントとコントロール類は、それぞれ論理的なクラスターとしてまとめられており、それらは当然あるべき場所に位置しています。この単純明快な事実によって誤操作が防止されているだけでなく、コントロール類をあれこれと探す手間が省かれています。必要な情報は一瞬にして確認することができますし、適切な配置によって、例えばフロントワイ

パーを作動させる筈が、間違ってもパーキングライトを点灯するというようなことは絶対に起こり得ません。

このように合理的なレイアウトによって、ドライバーは自分の周囲の交通状況にのみ注意を集中することが可能になります。つまりBMWコックピットのデザインは、ドライビングの安全性に大きな貢献をしているのです。

さらに特別装備された、各種機能。

4つのアナログメーターが、ドライバーが自然に目を降ろした位置にレイアウトされています。明瞭なアナログ表示は、必要な情報を迅速に伝達することが可能です。水温、エンジン回転数、走行速度、そして燃料レベルなど、常時確認する必要があることのすべてが瞬時に表示されます。回転計に内蔵されているEC/エネルギー・コントロールは、現時点で車が消費している燃料消費量を正

確に表示しますから、ドライバーはこのニューBMW5シリーズが提供する抜群の経済性を常に意識しながら運転することができます。そして同時に、この表示によって自分の運転をコントロールすることもできます。

しかしながら明瞭な視認性はBMWディスプレイシステムの「従来からある特長」のひとつに過ぎません。ここで強調しなければいけないことは、すべてが超近代的であるという点です。すべての計器類は最高の精度を保持し、長期的な寿命を確保するために電子制御されています。夜間になると際立つもうひとつの特長は、コントロール類およびインストルメント全体の間接照明です。インストルメントパネルは上面から照明されるために眩しさがなく、その判読の容易さはまさに理想的です。

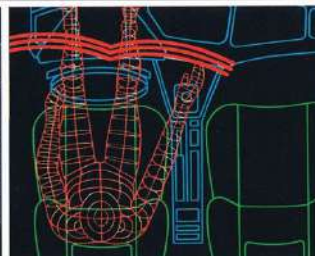
ヒーターノブやオーディオ・コントロール類もすべてこの方法によって照明されており、しかも、その照度をドライバーの好みで調整することが可能です。

SI/サービスインターバル・インジケーターはBMWのもうひとつの独特の装備です。これ



オンボード・コンピューター:
瞬間燃費または平均燃費、燃料残量からの走行可能距離、あるいは平均走行速度などを表示する

ユニークな計器。路面凍結の危険性をも指示し、さらにパスワード管理によって盗難を防止。(535iに標準装備)



人間工学コンセプト:
BMWの人間工学コンセプトの第一はドライバーの重視。すべてのコントロール類はシートから上体を起こすことなく自然

に手を伸ばした位置にレイアウト。これこそがモータリングの楽しさと安全な走行の一体化。

は車がいつ整備を必要とするか、次のオイル交換の時期はいつ頃かなどの情報を正確に表示するものです。日本では法定点検整備の時期に従わなければなりません。このシステムによってドライバーは自己の運転習慣を確認することができ、安全性の向上に役立ちます。

アクティブ・チェック・コントロールシステムが明快かつスピーディに情報を伝達。

標準装備されたアクティブ・チェック・コントロールシステムによって、安全が保証されるだけでなく、すべての装置が完全な作動状態にあることを自動的に確認することができます。このシステムは、エンジンの油圧、オイルレベル、ブレーキ液のレベル及び温度、ハンドブレーキの作動/解除、エンジン冷却水のレベルと温度、ナンバープレート照明、パーキングライトなど、14種類の装置の状態を常時監視しています。またヘッドランプが点灯していない時もチェックします。この結果、定期的にオイルレベルを調べたり、ヘッドランプを点検する必要はなくなりました。車は能率的で完璧な信頼性を黙っていても達成しています。なお安全性をさらに高めるために、アクティブ・チェック・コントロールはそれぞれ自身をチェックすることすら行います。

このシステムが監視する機能の数が多いことが印象的であるとするならば、故障の可

能性が表示される方法もこれに劣らず驚くべきものがあります。まずアクティブ・チェック・コントロールは分かりやすい「言葉」によってドライバーに注意を促します。表示内容を実際にドライバーに伝達するために、ディスプレイの照度は自動的に車内の照度に対して調整されます。2つ目として、車を直ちに停止させる必要があるか、またどの様に対処すべきであるか、情報を与えてくれます。そして同時に発生した場合、安全性を基準としたトラブルの優先順位を明示します。あなたがニューBMW5シリーズのハンドルを握った瞬間に感じる安心感の背景には、車がすべて順調であることをチェックしているこのシステムが存在しています。

アクティブ・チェック・コントロールのディスプレイはBMW535iの場合には、さらにオンボード・コンピューターからの追加データを受け取ります。さらに改良されたこのユニークなコンピューターは広範囲の有益な情報を提供します。平均的な燃費、特定区間の平

均速度などを計算し、予め設定された速度を越えようと警告を出し、頻繁に速度計を見なくても速度制限を遵守できるように設計されています。道路が凍結している可能性がある時には警告を出し、プリセットされた時点でベンチレーションにスイッチを入れます。あるいは次回の給油の時期までも教えてくれます。そしてオンボード・コンピューターが提供するすべての情報は、直接ディスプレイ上に表示することが可能です。その場合も、ドライバーはハンドルから手を離す必要すらありません。ただターン・インジケーター・レバーに軽く触れるだけで必要な情報を得ることができます。ここに説明した機能も、モータリングの楽しさを広げ、安全性をさらに高める画期的な特長のひとつです。



コックピット:
完璧な調和を追求。インテリアの色彩はすべてがマッチするように入念にデザイン。インストルメントパネルにはダークトーンが使用され、フロントガラスへの映り込みを防止。印象通りに合理的なコックピットは、ドライバーをリラックスさせるゆわりのデザインを重視。さらに、BMW 525iは個性派ドライバーの要求に応えるため、左ハンドルに加えて、右ハンドルも設定。選択の幅を広げ、より深いドライビングの軟びを創造。

Lufthansa





インスピレーションを、 力強くかきたてる静かな空間。

ニューBMW5シリーズでどんなに速いスピードで長距離ツーリングをしても、車内は静けさに包まれており、今まで知らなかったつろぎの体験を味わうことができます。この事実には、ニューBMW5シリーズの開発にあたって行われた風洞実験、合理的なスタイリング・デザイン、製造工程における完璧な精度、そして細部にまで行き届いた入念な仕上げの成果です。直列6気筒エンジンはどのような走行状態であっても、静かに、そして滑らかにその類い稀なパワーを発揮します。ドライブブレーンやサスペンションも静かに効率的な仕事を続けています。インテリア全体に最高品質のファブリック素材が用いられ、室内は際立つ静粛性を有していますが、これは極



シートベルトアンカー部：シートベルトアンカー上部はシート位置の調整によって自動的に上下移動。この結果、理想的なシートベルト装着状態が保たれ、身体に無理な圧力がかかることは皆無。(写真のスポーツシートは、日本仕様には設定されません。)

車内には一切露出していませんし、ファブリック素材は手の届きそうにない部分までも被いつくし、まさに徹底した仕上げ加工が施されています。

ドライバーに合わせて 自分を調整する車。

シートの構造がこの車の素晴らしく快適なドライブ・フィーリングに大きな貢献をしているのは明らかです。完璧な人間工学的設計によって、シートはあらゆる体格のドライバーの体型にぴったりとフィットします。内蔵されたスチールスプリングは、サスペンションとの効率的な相互作用をします。シートスプリングの上の多層質のフォームラバーは、どんな時でも

めて密閉性の高い車室構造によって遮音効果が効果的に行われているためです。さらに、分厚いペロアカーペットには、防音インシュレーターが織り込まれており、客室のフロア全体をカバーしています。金属部分は



完全な乗り心地を約束します。シートの各部分は乗員の身体を理想的にサポートするために、多少固くなっている部分とソフトな部分が適切に組み合わされています。ホールドが必要な箇所ではしっかりとしたサポートを与え、快適さが必要な部分ではソフトなクッションを提供するこの絶妙なコンビネーションによって、どんな急カーブを通過する場合であっても、素晴らしい乗り心地と確実なホールド性能が完璧にブレンドされているのです。広範囲な調整が可能なフロントシートによってドライバーもパッセンジャーも自分にとって最適なポジションを選択することが可能です。上部のシートベルトを調整するだけで自動的に行われるワイドな前後方向のアジャストは、さらにシート高や角度を微妙に調整することによって、より完璧にフィットさせることができます。もちろんハンドルのリーチも調整が可能です。このように、ニューBMW 5シリーズは、あくまでも車がドライバーに合わせて調整をするのであって、決してその反対ではないのです。

リヤシートもまた、卓越した水準の乗り心地に貢献しています。それは体型の輪郭にフィットするように成形されており、多層質のフォームラバーが内蔵されています。安全性をより完璧なものにするためには、万一の衝突事故の際に乗客がシートベルトの下側へ滑り込んでしまうことを避けるための「アンチサブマリン・サポート機構」が組み込まれています。

きめ細かなエアコンディショニング能力。
素晴らしい性能の車で本物のドライビングを心から満喫するためには、完璧なエアコンディショニングが欠かせません。ニューBMW 5シリーズの車内には最新のテクノロジーに基づいた合計14ヶ所のエアアウトレットがレイアウトされており、冷気または暖気が適宜供給されます。隙間風などは完全にシャットアウトされています。ニューBMW 5シリーズの

エアコンディショニング・システムのプロセスは極めて能率的に、そしてきめ細かに作動するため、乗員はその存在を忘れて心からリラックスすることができます。

細部にまでみられる設計思想。

その車の設計者が自分の作品にどれだけ心をこめているかを判断するには、細部までを徹底的にチェックするしかありません。このような点を追求するには小さな部分が大きな意味を持っているからです。車内に多くの収納スペースが設けられていることや、天井に4個のアンスグリップが取り付けられていることといった小さな工夫の数々が、車内で過ごす時間の快適さを大きく左右するのです。この他にも、ワイパーの接触圧は走行速度に応じて変化しますし、万が一の事故の場合にはクラッシュセンサーがすべてのドアロックを解除し、室内灯を点灯して乗員の脱出を助けます。さらに4ウェイフラッシュャーも自動点灯させます。ヘッドライトを点灯させた状態での走行後は、イグニッションキーを抜いた瞬間に、自動的に室内灯が点灯します。これらの細部にわたる工夫の数々によって、あなたは時には感動し、そしてドライビングがますます楽しいものになるに違いありません。

同様に、細部への入念な注意と関心がニューBMW 5シリーズのあらゆる部分の仕上げと長期的な品質保持に向けられています。高品質の仕上げについては、あなたが素晴らしいドライビング体験とモータリングのよこびを十分に味わったあとで、何年も経ってから初めて経験できることでしょ。

高度なパフォーマンスを駆使する、ドライバーのための指令塔。

人とマシンの関係を理想的に調和させるには、様々な分野での研究成果を、自動車工学テクノロジーの中に結晶させなくてはなりません。BMWは人とマシンの関係を徹底的に研究し、モータリングを安全で快適なものにするために、独自のコックピット設計を推進してきました。あらゆる状況下における、人間の行動および心理研究もそのひとつです。もちろん、その研究は様々な機会を利用して行われてきました。たとえば、レース・サーキットも研究開発の重要な舞台です。BMWはモータースポーツの世界に挑戦し、そこで得た成果を生産車の分野に投入してきました。苛酷な状況下における人間の行動および心理研究。BMW車のコックピットには、モータースポーツにおける研究成果が十二分に投入されています。BMW車のステアリングを握った時、ドライバーは素晴らしい快適なフィット感を覚えることができます。その秘密は純粋なモータリングの喜びを追求する、BMWの明確な設計コンセプトにあると言えるでしょう。



エアコンディショナー：標準装備のエアコンがモータリングの快適性を増大。ドライバーとパッセンジャーで独立して設定される温度/エア配分によって、いつでも理想的な空調環境を確保。



精密測定システム:
素材品質と仕上げ精度
を高度で正確なテスト・プ
ログラムによって検証。高
感度測定システムによっ
て、ごく僅かの騒音源すら
検出され、製造工程前に
それらを徹底排除。



ラゲージコンパートメント:
バンパー上から開閉可能
なために重量物の積み
下ろしも容易。広大な内
部スペースは邪魔な突起
が皆無。内部およびノド
まですべてニードルフェ
ルトでフルトリミング。そ
の内側は防音ライニング
処理。



人間工学的リヤ・シート
ベルト・レイアウト:
外側から内側へ装着さ
れるベルトシステムによ
って、万一の側面衝突の
場合に、乗員が車の中央
側へ押し出されてしまう
ことを衝突に防止。このシ
ステムのもうひとつの利
点は片手で可能なベルト
脱着の容易性、安全性と
使い勝手の一体化。



快適な居住性と 洗練された走りの、 完璧なまでの調和。

力強いパフォーマンスを体現し続ける、 半世紀に及ぶBMWセダンの系譜。

BMWは、数多くのセダンを世に送り出してきました。しかし、その開発コンセプトは常に一貫しています。それは、「力強いパフォーマンスと快適な居住性を調和させる」という考えです。たとえば、1930年代の後半に登場したBMW335は、ホイールベースを延長したゆとりあるボディの中に、直列6気筒3.5ℓエンジンを搭載したモデルでした。ダイナミズムと快適性の高次元でのハーモニー。この車作りに対する考え方は、洗練を加えながら、半世紀を経た今もなお脈々と継承されつづけています。

いつの時代も変わらぬ個性尊重主義。

BMWは、その輝かしい70余年の歴史において一貫して変わらぬ原則を持ちつづけてきました。それは、卓越した工学テクノロジーと、上品で控え目なスタイリングを統合することです。この私たちの思想は、長い歴史に育まれ、今また、新たな未来を示唆しています。これまでと同様に、今日でもこの典型的なBMWスタイルの基調は、スポーティ・ダイナミズムと超高級自動車工学思想、そして、その品質の良さをコンセプトとしています。この私たちのコンセプトは、車に高い見識を持ち、最高級のスタイリングと性能を望む人々に受け入れられてきました。そのような人々は、

他の人と一線を画すかのようにBMW車を選ばれます。

厳格なチェックによって高品質を獲得。

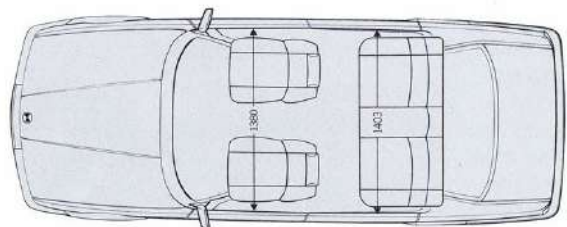
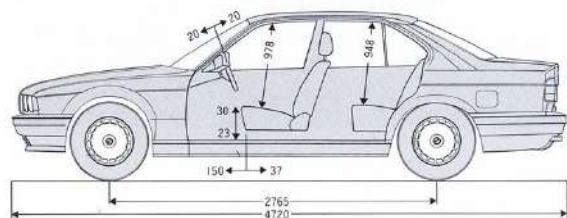
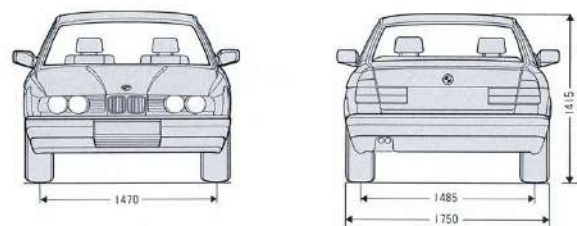
BMW車はあたかも一つの精密部品のように、すみずみまで品質チェックを受けます。エンジン組み立てにおける許容誤差範囲は、

人間の髪の毛の太さの5分の1という厳密さが要求されます。ボディの防錆処理は37ステップ、個々の車に対するスポット・チェックは7,000ステップにも及びます。このような完全主義に則ってチェックが行われているからこそ、BMW車は大きな安心と信頼をお約束できるのです。



BMWのシンボル：
BMWの歴史を鮮やかに
映し出してきた、回転する
プロペラを表わすエンブレ
ム。それは変わらぬパ
フォーマンス、革新的テク
ノロジー、そして際立つ品
質の象徴。

主要諸元



525i

535i

主要諸元			
●車種記号	525i	535i	
	4ドア/AT/LHD/RHD	4ドア/AT/LHD	
●寸法			
全長 mm	4,720	4,720	
全幅 mm	1,750	1,750	
全高 mm	1,415	1,415	
ホイールベース mm	2,765	2,765	
トレッド(前) mm	1,470	1,470	
トレッド(後) mm	1,485	1,485	
室内長 mm	1,810	1,810	
室内幅 mm	1,460	1,460	
室内高 mm	1,130	1,130	
●重量・定員			
車両重量 kg	1,500	1,630	
車両総重量 kg	1,775	1,905	
定員 名	5	5	
●性能			
最小回転半径 m	5.5(車体)	5.5(車体)	
●エンジン			
型式	25 6K	3.34M, JI	
種類	水冷直列6気筒SOHC	水冷直列6気筒SOHC	
総排気量 cc	2,493	3,430	
圧縮比:1	8.8	9.0	
最高出力 ps/rpm(DIN)	170/5,800	211/5,700	
最大トルク kgm/rpm(DIN)	22.6/4,300	31.1/4,000	
燃料供給装置	ジェトロニック電子燃料噴射装置+デジタル・モーター・エレクトロニクス(DME)	ジェトロニック電子燃料噴射装置+デジタル・モーター・エレクトロニクス(DME)	
使用燃料/タンク容量 ℓ	無鉛レギュラー/80	無鉛レギュラー/80	
●動力伝達装置			
クラッチ	トルクコンバーター(ロックアップクラッチ付)	トルクコンバーター(ロックアップクラッチ付)	
トランスミッション	前進4段 後退1段 フルオートマチック 電子式油圧制御システム・プログラム・セレクター付	前進4段 後退1段 フルオートマチック 電子式油圧制御システム・プログラム・セレクター付	
●駆動装置			
変速比(1速)	2.478	2.478	
// (2速)	1.478	1.478	
// (3速)	1.000	1.000	
// (4速)	0.728	0.728	
// (5速)	—	—	
// (後退)	2.090	2.090	
最終減速比	4.100	3.910	
●操向装置			
ステアリング型式	リサーキュレーティング・ボール式/パワーステアリング	リサーキュレーティング・ボール式/パワーステアリング	
●制動装置			
主ブレーキ形式(前)	ベンチレーテッド・ディスクABS付	ベンチレーテッド・ディスクABS付	
主ブレーキ形式(後)	ディスクABS付	ディスクABS付	
ブレーキ倍力装置	真空式	真空式	
駐車ブレーキ形式	機械式(内部拡張式)	機械式(内部拡張式)	
●タイヤ/ホイール			
タイヤ	205/65VR15	225/60ZR15	
ホイール	7Jx15アロイ	7Jx15アロイ(クロスボーク・スタイル)	

※本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●本カタログ記載事項は西ドイツBMW AG公表データに基づいています。

●本カタログ中の写真には、日本仕様と異なるものもあります。また、一部オプション、特別注文も含まれます。

525i 535i

●ボディ

4ドア・サルーン
フロア部に溶接されたオールスチール製モノコックボディ
ねじれ剛性の高いセーフティ・セル
プログラムされた形状変化特性を持つ前後のクラッシュ・ゾーンと衝撃吸収ボックス構造一体型ルーフ・クロスバー
ボディ全体の補強構造
燃料タンクは高剛性サポートフレームに埋め込み/燃料タンク容量80ℓ

●エンジン

縦置き、傾斜マウントされたSOHC水冷直列6気筒エンジン
軽合金シリンダー・ヘッド
クロスフロー式半球形燃焼室
7ベアリング付オーバーヘッド・カムシャフトベアリング7個とカウンタウエイイト12個付クランクシャフト
エンジン・バイブレーション・ダンパー
ピスカス・カップリング付冷却ファン
第3世代DME(デジタル・モーター・エレクトロニクス)による電子グリッド制御点火システム及びグリッドコントロール・エア容量測定燃料噴射装置
緊急運転機能付き車載診断システム
高耐久性排気システム
ツイン・エキゾースト・システム
ツイン・テールパイプ

●トランスミッション/サスペンション

ダブルジョイント・スプリングストラット・フロント・アクスル
スリープバック角13度のセミトレーリングアーム・リヤアクスル
ツインスリープ・ガス封入式ショックアブソーバー
アンチローバー(前後)
エンジン回転数感応型パワーステアリング
コラシブル・ステアリング・コラム
リーチ調整式ステアリング・ホイール
油圧サーボ付ツインサーキット・ブレーキ
非アスベスト系ブレーキパッド

独立マウント式スプリング/ショックアブソーバー(フロント・サスペンション)
ダブル・エラスティック・リヤディファレンシャルマウント
ベンチレーテッド・ディスクブレーキ(前)
ソリッド・ディスクブレーキ(後)
アンチロック・ブレーキング・システム(ABS)

●タイヤ/ホイール

525i 205/65VR15+7J×15アロイ
535i 225/60ZR15+7J×15アロイ

●エクステリア

4灯丸型ヘッドライト
時速4kmまでの衝撃を吸収する特殊合成樹脂バンパー(フロント/リヤ)
ボディと同色仕上げ
フロントエアダムスカート(リヤバンパーはボディと一体化)
セミコンシールド・ワイパー
バンパー高で閉鎖するトランク
バンパー及びボディ全幅にわたるプロテクション・ラバートリム
ガス封入式ストラット付エンジンフード
フロント安全合わせガラス
熱線入りリヤウインドー
盗難防止安全ロック付集中ドアロック

●インテリア

ベロア・フロアマット
モジュール式ルーフライニング
照明付グローブボックス(ロック付)
上部ソフトスキンフィニッシュのインストルメント・パネル
ルーフ収納式クラブハンドル
シフトセクター前部の大型収納スペース
高さ調整機構付
フロント・リクライニングシート
多層質フォームパッド製
セパレート式リヤ・シート
イナナーシャロック機構及びテンションリデュースャー付3点式フロント及びリヤ・シートベルト
リヤシートベルトロック外側配置
ツールボックス

トランク容量460ℓ

以下535iに適用
コードロック内張り仕上げ
フロントシート・バックポケット付
レザー皮巻きスポーツステアリングハンドル
レザー皮巻きオートマチックセレクターノブ及びハンドブレーキレバー

●電気系統

ツイン・ハロゲン・ヘッドライト
楕円型反射鏡式ロービーム及びフォグランプ
リヤフォグランプ
インストルメント及びコントロール類は防眩式照明
SI/サービス・インターバル・インジケーター
EC/エネルギー・コントロール
アクティブ・チェック・コントロール
カーティシ機能付き室内灯
走行速度感応式間欠式ワイパー
電動調節式ドアミラー
ウインドー・プリント式アンテナ
多段調節式熱線リヤウインドー
AM/FMステレオ・カセット・システム
以下535iに適用
走行速度感知式プレッシャーコントロール付フロントワイパー
マップランプ(フロント)
後席シガーライター
ドライバー側ドアロック、ドアミラー及びウィッシュャー・ヒーティングシステム
エンジンコンバートメント照明
ハンドルからのコントロールが可能な第4世代オンボードコンピューター
外気温度警告チャイム
タイム・アラーム
インストルメント照明の照度コントロール機構
チェック/コントロールによるオンボード・コンピューター情報の選択表示機構

正規代理店ならではの、信頼性豊かなサービスを。

BMW Japan Corp.正規代理店では、ドイツ本社が日本の気候や道路事情に合わせて改良を加え、豊富な標準装備を採用したBMW車をご用意しています。また、先進のテクノロジーを搭載した車にふさわしい、革新的なオート・ローンおよびリース・プログラムも導入しています。

皆様のライフスタイルを際立って个性的に表現するBMW車の真価を、BMW Japan Corp.正規代理店でご体験ください。全てのスタッフは情熱と誠意を持って仕事と取り組んでいます。ご購入方法からアフターサービスまで、お気軽にご相談ください。

オーナーニーズに応える、高度なサービス体制。

BMW車の優れた個性を100%引き出し、そのテイストを充分に堪能していただくにはクオリティの高いアフターサービスが必要です。BMW Japan Corp.正規代理店では、ドイツ本社と全く同じシステムで厳格な教育を受けたメカニックを配置し、あらゆる状況に対応できるよう努めています。また、470種類に及ぶ専門工具やコンピューターによる専用テスターの使用などによって、万全のメンテナンス体制を作り上げています。全国に広がったBMW Japan Corp.正規代理店のネットワークが、皆様のモータリングライフを力強くバックアップいたします。

確実にしかもスムーズな、純正パーツ供給体制。

また、サービスの質は技術だけでなく交換パーツの品質によっても左右されます。BMW Japan Corp.では純正パーツの供給体制を順次拡充しており、現在では各サービス拠点からの要求に対して、通常の場合なら96%のパーツを24時間以内で供給できる即応体制を確立しています。

オーナーの方に安心と信頼をお約束するために、BMW Japan Corp.と正規代理店は一体となって、これからもより優れたサービス体制作りを進めていきます。



© BMW AG, Munich
West Germany
Not to be reproduced wholly or in part without written permission of BMW AG, Munich
9 11 05 01 70
1/89 VM, Printed in West Germany 1989.

BMW Japan Corp.
西独BMW全額出資の日本法人



